

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人三枝重太郎の上告趣意（後記）は憲法違反を主張するけれどもその実質は
量刑不当の主張に帰し（昭和年二二年（れ）第三二三号同二三年六月二三日大法廷
判決参照）結局刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。また記録を精査しても同四一
一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四一四条三八六条一項三号により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年七月二〇日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	栗	山	茂
裁判官	小	谷	勝 重
裁判官	藤	田	八 郎
裁判官	谷	村	唯 一 郎